

データで見る日本協会の地域組織

2024.1.27 シェアリングネイチャー☆まるしえ

阿部利也

自己紹介

日本協会理事・指導者養成委員

はりまシェアリングネイチャーの会事務局長

ネイチャーゲームトレーナー

1963年生れ

調査の概要

日本協会の2023.12.1現在に把握している会員名簿による
データに空白があったりして、合計が合わないケースがある

成人人口は総務省統計局・人口推計（2022年（令和4年）10月1日現在） 2023年4月12日公表
を使用した

会員の概要

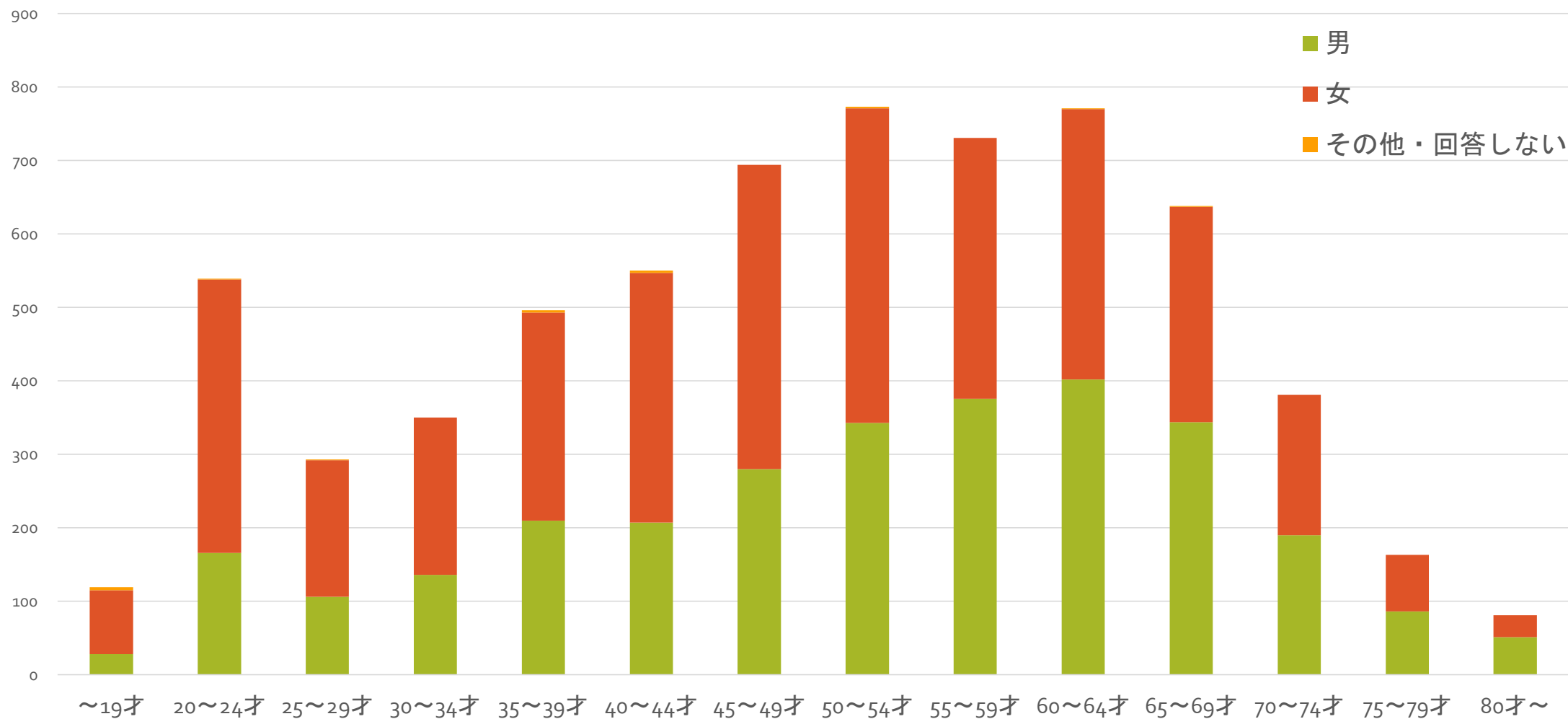
男性	2,931 人	44.5%
女性	3,645 人	55.3%
その他・回答しない	16 人	0.2%
合計	6,592 人	

平均年齢 49.56才
男性 52.22才
女性 47.48才

年齢	男	女	その他・回答しない	合計
～19才	28	87	4	119
20～24才	166	372	1	539
25～29才	106	186	1	293
30～34才	136	214	0	350
35～39才	210	283	3	496
40～44才	207	340	3	550
45～49才	280	414	0	694
50～54才	343	428	2	773
55～59才	376	355	0	731
60～64才	402	368	1	771
65～69才	344	293	1	638
70～74才	190	191	0	381
75～79才	86	77	0	163
80才～	51	30	0	81
	2,925	3,638	16	6,579

年齢別

会員年齢別・性別



平均年齢

	都道府県	平均年齢
01	北海道	37.9
02	青森県	56.8
03	岩手県	49.8
04	宮城県	42.1
05	秋田県	54.8
06	山形県	48.0
07	福島県	43.4
08	茨城県	51.3
09	栃木県	51.8
10	群馬県	55.5
11	埼玉県	45.1
12	千葉県	53.8
13	東京都	48.0
14	神奈川県	50.7
15	山梨県	46.3
16	長野県	45.8
17	新潟県	53.9

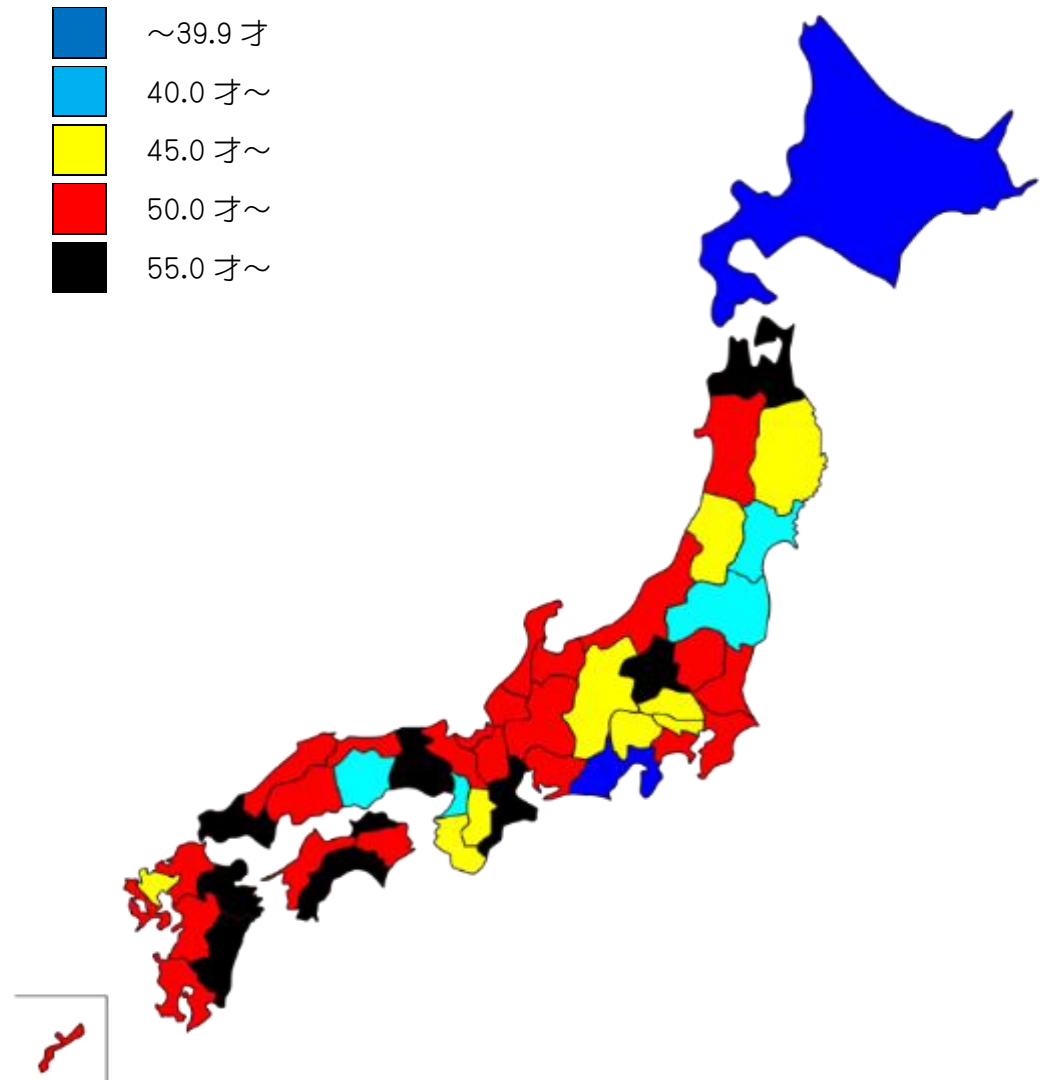
	都道府県	平均年齢
18	富山県	54.7
19	石川県	51.3
20	福井県	54.0
21	岐阜県	51.9
22	静岡県	37.8
23	愛知県	52.4
24	三重県	56.8
25	滋賀県	52.4
26	京都府	50.6
27	大阪府	44.8
28	兵庫県	55.1
29	奈良県	49.3
30	和歌山県	49.6

全国平均 49.6

	都道府県	平均年齢
31	鳥取県	52.2
32	島根県	54.7
33	岡山県	49.4
34	広島県	54.6
35	山口県	55.9
36	徳島県	51.4
37	香川県	55.1
38	愛媛県	50.3
39	高知県	55.5
40	福岡県	52.0
41	佐賀県	49.4
42	長崎県	50.1
43	熊本県	52.5
44	大分県	55.3
45	宮崎県	56.7
46	鹿児島県	53.7
47	沖縄県	53.7

都道府県別平均年齢

- 課程認定校入会者の入ったもの
- 課程認定校入会者の多い地域や、都市部が低い傾向にある
- 平均年齢の高い都道府県(特に人口が少ないところ)では、リーダー人口が急激に減少する可能性がある
- 平均年齢の高い地域は、言い方を変えれば、高齢でも継続してくれている人が多い地域でもある



課程認定校入会者の影響

- 課程認定校入会者が多いほど、その影響が大きい
- 課程認定校入会者は北海道、首都圏、長野県、静岡県に多い
- 西日本は、課程認定校の影響が少ない

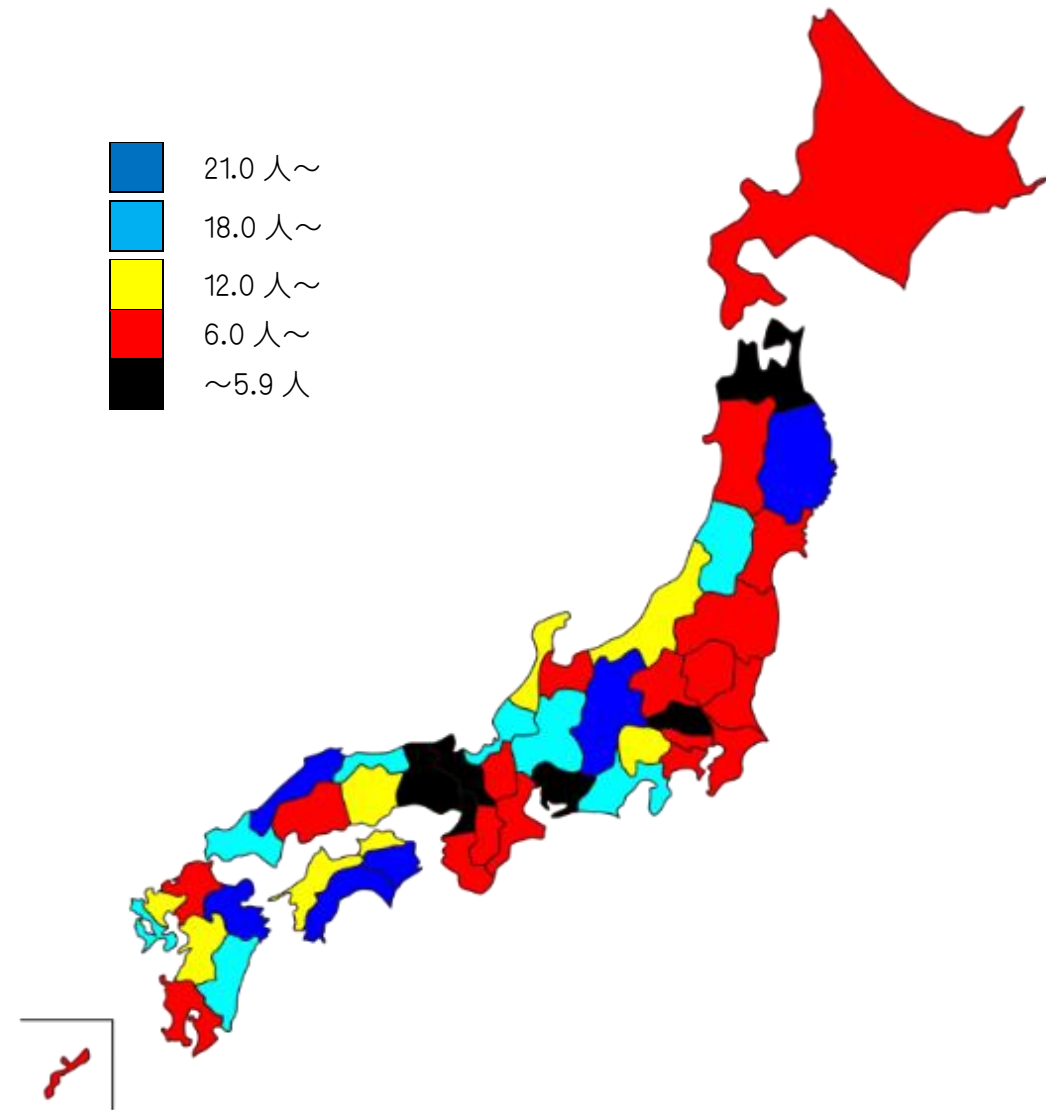
		リーダー人	内課程認定校入会	除課程認定校入会	除課程認定校入会/成人人口	(再掲)リーダー/成人人口			リーダー人	内課程認定校入会	除課程認定校入会	除課程認定校入会/成人人口	(再掲)リーダー/成人人口	
01	北海道	277	110	167	5.7%	9.5%		25	滋賀県	61	3	58	6.9%	7.2%
02	青森県	37	1	36	5.4%	5.6%		26	京都府	85	10	75	5.0%	5.6%
03	岩手県	152	17	135	20.8%	23.5%		27	大阪府	212	53	159	3.0%	4.0%
04	宮城県	110	34	76	5.6%	8.1%		28	兵庫県	183	5	178	5.6%	5.8%
05	秋田県	45	5	40	8.3%	9.3%		29	奈良県	61	8	53	7.2%	8.3%
06	山形県	92	7	85	15.0%	16.3%		30	和歌山県	49	5	44	8.9%	9.9%
07	福島県	106	40	66	6.6%	10.5%		31	鳥取県	49	2	47	15.8%	16.4%
08	茨城県	135	18	117	7.1%	8.2%		32	島根県	72	1	71	20.3%	20.6%
09	栃木県	78	4	74	6.6%	7.0%		33	岡山県	151	0	151	14.2%	14.2%
10	群馬県	94	0	94	8.5%	8.5%		34	広島県	127	1	126	7.9%	8.0%
11	埼玉県	233	59	174	3.9%	5.2%		35	山口県	132	1	131	18.6%	18.8%
12	千葉県	239	24	215	5.7%	6.3%		36	徳島県	87	0	87	22.8%	22.8%
13	東京都	638	93	545	5.9%	6.9%		37	香川県	65	0	65	12.5%	12.5%
14	神奈川県	360	23	337	5.8%	6.2%		38	愛媛県	90	2	88	12.3%	12.6%
15	山梨県	61	3	58	12.6%	13.3%		39	高知県	85	0	85	23.6%	23.6%
16	長野県	281	84	197	17.4%	24.9%		40	福岡県	190	0	190	6.3%	6.3%
17	新潟県	165	6	159	13.3%	13.8%		41	佐賀県	55	0	55	12.4%	12.4%
18	富山県	61	0	61	10.7%	10.7%		42	長崎県	105	1	104	15.1%	15.2%
19	石川県	94	0	94	14.5%	14.5%		43	熊本県	118	0	118	12.5%	12.5%
20	福井県	75	0	75	17.6%	17.6%		44	大分県	133	7	126	21.0%	22.2%
21	岐阜県	167	8	159	14.3%	15.0%		45	宮崎県	86	0	86	15.2%	15.2%
22	静岡県	311	173	138	6.7%	15.1%		46	鹿児島県	99	0	99	11.8%	11.8%
23	愛知県	227	21	206	4.5%	4.9%		47	沖縄県	76	5	71	8.0%	8.6%
24	三重県	64	2	62	6.2%	6.3%				6,582	847	5,735	7.7%	8.9%

都道府県 リーダー密度

		15~64歳 (人口:千人)	リーダー	内課程認定 校入会	リーダー/ 成人人口	課程認定校 入会を除く			15~64歳 (人口:千人)	リーダー	内課程認定 校入会	リーダー/ 成人人口	課程認定校 入会を除く	
01	北海道	2,924	277	110	9.47%	5.71%		25	滋賀県	845	61	3	7.22%	6.86%
02	青森県	663	37	1	5.58%	5.43%		26	京都府	1,512	85	10	5.62%	4.96%
03	岩手県	648	152	17	23.46%	20.83%		27	大阪府	5,349	212	53	3.96%	2.97%
04	宮城県	1,363	110	34	8.07%	5.58%		28	兵庫県	3,151	183	5	5.81%	5.65%
05	秋田県	484	45	5	9.30%	8.26%		29	奈良県	735	61	8	8.30%	7.21%
06	山形県	566	92	7	16.25%	15.02%		30	和歌山県	495	49	5	9.90%	8.89%
07	福島県	1,007	106	40	10.53%	6.55%		31	鳥取県	298	49	2	16.44%	15.77%
08	茨城県	1,655	135	18	8.16%	7.07%		32	島根県	350	72	1	20.57%	20.29%
09	栃木県	1,121	78	4	6.96%	6.60%		33	岡山県	1,063	151	0	14.21%	14.21%
10	群馬県	1,108	94	0	8.48%	8.48%		34	広島県	1,594	127	1	7.97%	7.90%
11	埼玉県	4,483	233	59	5.20%	3.88%		35	山口県	704	132	1	18.75%	18.61%
12	千葉県	3,796	239	24	6.30%	5.66%		36	徳島県	382	87	0	22.77%	22.77%
13	東京都	9,301	638	93	6.86%	5.86%		37	香川県	522	65	0	12.45%	12.45%
14	神奈川県	5,797	360	23	6.21%	5.81%		38	愛媛県	716	90	2	12.57%	12.29%
15	山梨県	460	61	3	13.26%	12.61%		39	高知県	360	85	0	23.61%	23.61%
16	長野県	1,129	281	84	24.89%	17.45%		40	福岡県	3,013	190	0	6.31%	6.31%
17	新潟県	1,195	165	6	13.81%	13.31%		41	佐賀県	444	55	0	12.39%	12.39%
18	富山県	570	61	0	10.70%	10.70%		42	長崎県	690	105	1	15.22%	15.07%
19	石川県	648	94	0	14.51%	14.51%		43	熊本県	943	118	0	12.51%	12.51%
20	福井県	426	75	0	17.61%	17.61%		44	大分県	600	133	7	22.17%	21.00%
21	岐阜県	1,111	167	8	15.03%	14.31%		45	宮崎県	565	86	0	15.22%	15.22%
22	静岡県	2,064	311	173	15.07%	6.69%		46	鹿児島県	838	99	0	11.81%	11.81%
23	愛知県	4,628	227	21	4.90%	4.45%		47	沖縄県	884	76	5	8.60%	8.03%
24	三重県	1,008	64	2	6.35%	6.15%				48,155	4102	732	8.87%	7.73%

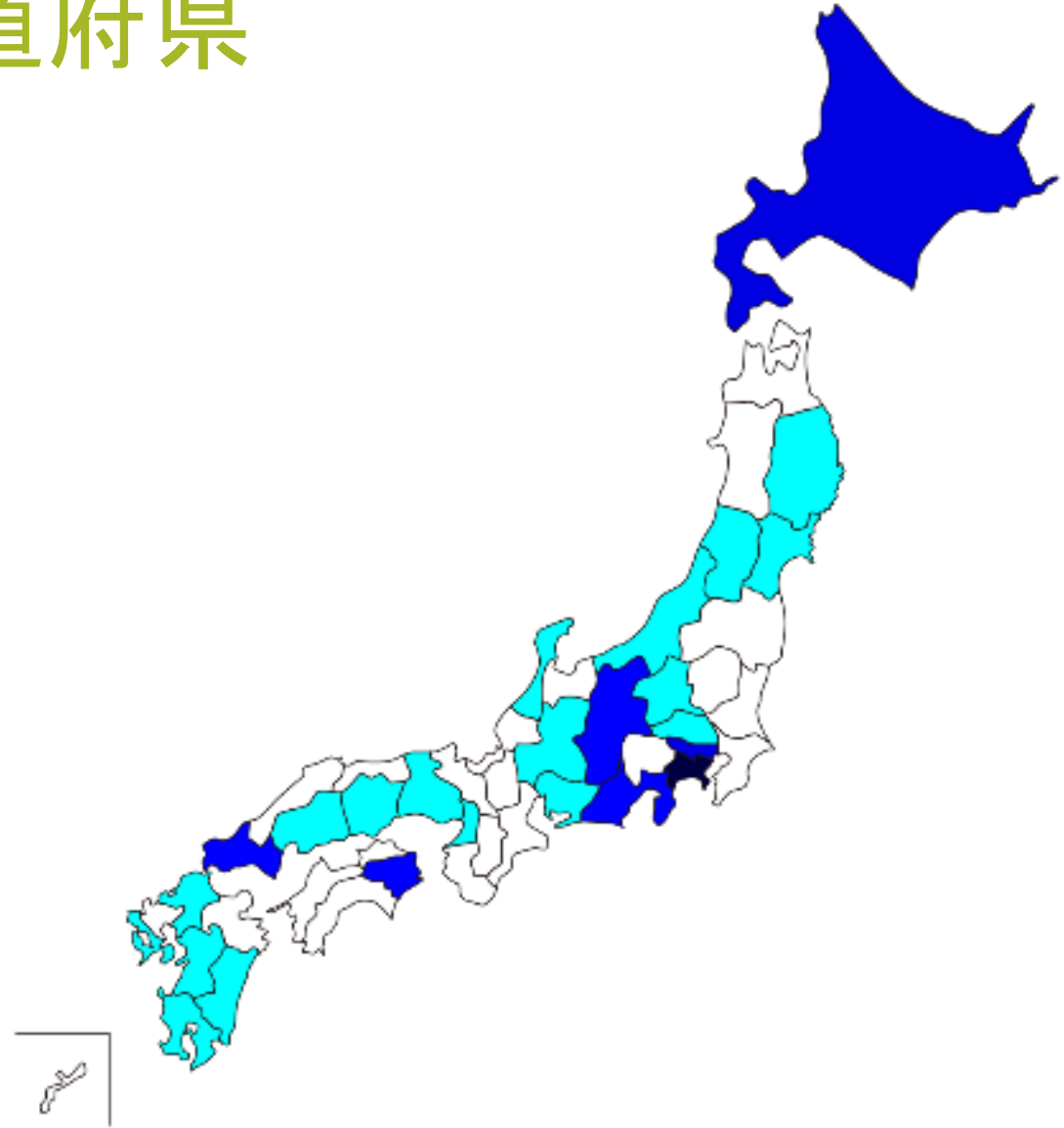
リーダー密度（成人人口 10万人あたり）

- 成人人口（15～64才）以外のリーダーも多く存在するが、ここでは考慮していない
- 課程認定校入会者を含んだ数字
- 人口の多い都市部が低い傾向になる
- 低い都道府県は、養成講座を開催することにより、増える可能性が高いと考えられる
- 逆に、人口の少ない都道府県で密度の高い地域は、リーダー養成の集客に苦勞する可能性が高い
- この考え方を都道府県内で、市町村等で整理すると、密度の低い地域では、単純にいうと指導員増の伸びしろがあると考えられる



トレーナーのいる都道府県

- 神奈川県4名、北海道・東京都3名、静岡県・長野県・山口県・徳島県2名
他は1名
- トレーナーが居ることで、活動の幅が広がる



インストラクター率

		リーダー	イントラ(ト 含む)	イントラ/ リーダー	ブロック 平均
01	北海道	277	16	5.8%	5.8%
02	青森県	37	1	2.7%	
03	岩手県	152	10	6.6%	
04	宮城県	110	5	4.5%	
05	秋田県	45	4	8.9%	
06	山形県	92	9	9.8%	
07	福島県	106	2	1.9%	
08	茨城県	135	7	5.2%	3.7%
09	栃木県	78	1	1.3%	
10	群馬県	94	3	3.2%	
11	埼玉県	233	10	4.3%	
12	千葉県	239	10	4.2%	
13	東京都	638	23	3.6%	
14	神奈川県	360	18	5.0%	
15	山梨県	61	1	1.6%	
16	長野県	281	7	2.5%	
17	新潟県	165	5	3.0%	

		リーダー	イントラ(ト 含む)	イントラ/ リーダー	ブロック 平均
18	富山県	61	2	3.3%	2.6%
19	石川県	94	3	3.2%	
20	福井県	75	1	1.3%	
21	岐阜県	167	3	1.8%	
22	静岡県	311	8	2.6%	
23	愛知県	227	6	2.6%	
24	三重県	64	3	4.7%	
25	滋賀県	61	2	3.3%	5.1%
26	京都府	85	7	8.2%	
27	大阪府	212	8	3.8%	
28	兵庫県	183	10	5.5%	
29	奈良県	61	4	6.6%	
30	和歌山県	49	2	4.1%	

全国 6582 284 4.3%

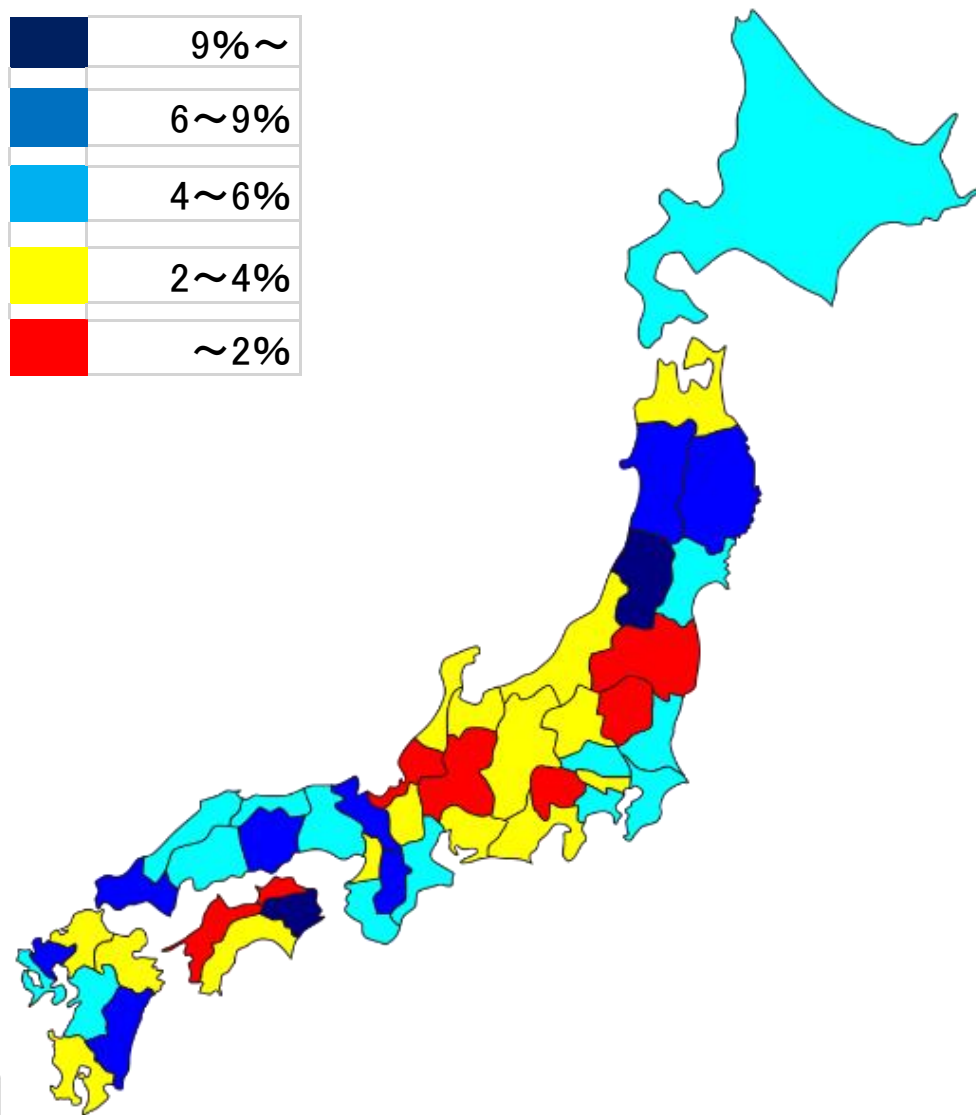
		リーダー	イントラ(ト 含む)	イントラ/ リーダー	ブロック 平均
31	鳥取県	49	2	4.1%	5.5%
32	島根県	72	3	4.2%	
33	岡山県	151	12	7.9%	
34	広島県	127	6	4.7%	
35	山口県	132	10	7.6%	
36	徳島県	87	10	11.5%	
37	香川県	65	1	1.5%	
38	愛媛県	90	1	1.1%	5.2%
39	高知県	85	2	2.4%	
40	福岡県	190	7	3.7%	
41	佐賀県	55	4	7.3%	
42	長崎県	105	6	5.7%	
43	熊本県	118	6	5.1%	
44	大分県	133	5	3.8%	
45	宮崎県	86	6	7.0%	
46	鹿児島県	99	2	2.0%	
47	沖縄県	76	9	11.8%	

イントラ率

指導員中のイントラ割合

- イントラ率が高い・・・指導員そのものの数の違い（母数）が少ないところもある
- 地域組織は、イントラを活用すると、入門講座等への対応ができるため、普及が幅広くできる
- 率が低い地域では、イントラの認定を受ける対象者が多いと考えられるため、指導員の掘り起こしを積極的にしていけば、成果があがるのではないか
- イントラは、都道府県協会で作戦立てて作っていきこう。トレーナーは、ブロックで作戦を。

9%～
6～9%
4～6%
2～4%
～2%



まとめ

- 単純に人数比較だけではわからない。率で比較するのが良い
- リーダー密度が低い地域では、養成講座受講者の伸びしろがある
- イントラ率が低い地域では、リーダー密度も考慮して人材育成の計画をたてる必要がある
- シェアリングネイチャー・ネイチャーゲームを、たくさんの人たちに体験してもらいためには、それぞれの役割を担う人たちが適正に配置できるようになれば効果的
- 既にイントラの方などが、最大の人材育成は、自身の後任をつくること
- 都道府県・ブロックで、戦略的に人材育成を